

声

業界の



● 河口湖温泉旅館協同組合

理事長 外川 誠氏

業界の現況は？

観光業界は、景気による影響を受けやすい業種であるため、全国的に厳しい状況にあります。本県の観光においても、昨年12月、本年1月は笹子トンネル事故の影響を受けましたが、2月以降は順調に回復しており、河口湖周辺の観光業者は例年に近い業績をあげております。これは、都心から比較的アクセスしやすく、富士山や湖といった豊かな自然があることに加え、山梨県や富士河口湖町等との連携による観光キャンペーンの実施、テレビやマスコミ等の媒体によるパブリシティ効果、年間を通して各種イベントを継続的に実施していることが大きな要因といえます。

しかし、海外の観光客については、昨年の尖閣諸島の問題による日中関係の冷え込みが宿泊業界の大きなマイナス要因となっています。今後は、今以上にアジア各国に販路を広げて、積極的なPR活動が急務となっています。

組合の活動

河口湖周辺のイベントや味覚情報載せたパンフレットの作成、河口湖周辺の観光業者や行政等と連携し、当地で実施されるイベントを積極的にを行っています。

昨年で12年目を迎えた恒例の富士山ご来光バスツアー、第1回キラキラ河口湖秋物語、河口湖ノルディックウォーク協会が企画したノルディックウォークにも積極的に参画し、宿泊客にPRしてきました。

今後の展開は？

昨年実施した「キラキラ河口湖秋物語」を継続していくなど、各種イベント等を通して河口湖周辺の活性化につなげていきたいと思っています。

また、本年は富士山の世界遺産登録が期待される年でもあり、国内はもとより、海外からも多くの観光客が訪れると思います。来ていただいたお客様に喜んでいただき、感動していただくために、一層の「心のおもてなし」に重点を置き、質の高い観光地を目指して、地域全体で取り組んでいきたいと思えます。



河口湖温泉旅館から見える富士山